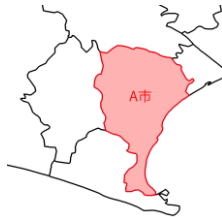
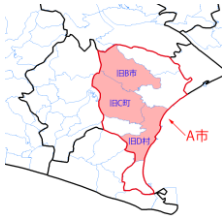




災害事例ID	1996-07-09_x_RLxxxx_JP14205-015345-13		範囲精度 *2 A
現在の自治体名*1	神奈川県 藤沢市 (地方公共団体コード: JP14205) 代表点座標: 35.33894, 139.491116		
災害の種類	風水害(台風), 斜面災害(表層崩壊)		
自然現象	風水害	気象現象: 台風9615号 期間降水量: 247.5 mm, 地点: 南消防署 (平成8年7月7日 18:00 ~ 平成8年7月10日 16:00)	
発生時期	発生日	1996年7月9日 (平成8年7月9日)	
	災害の継続期間	1996年7月7日 (平成8) ~ 1996年7月10日 (平成8) (継続期間)	
出典資料	藤沢市消防本部 (2009) : 消防年報 2009年(平成21年)版, p117.		

*1: 2013 (平成25) 年1月1日時点

災害事例ID		1996-07-09_x_RLxxxx_JP14205-015345-13	
風水害	気象現象		台風9615号
	期間降水量		247.5 mm, 地点: 南消防署 (平成8年7月7日 18:00 ~ 平成8年7月10日 16:00)
斜面災害	発生箇所数	表層崩壊	4箇所

*2：範囲精度の解説

範囲精度	事例の地理的な範囲の用例	事例範囲のイメージ
A	事例レコードの地理的範囲と災害統計値の集計エリアとが同一。	
B	事例レコードの地理的範囲(現在のA市)は、災害発生当時の旧市町村エリアよりも大きいため、実際には災害が発生していない地域も含む。	
C	出典資料に事例レコードの地理的範囲に関する記述が無く、正確な範囲が不明。(例:非常に古い災害、河川の流域)	
D	事例レコードおよびその周辺地域(隣接自治体までの範囲)を含む範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。この場合、事例レコード内での被害状況は事実よりも過剰な記述となる。	
E	事例レコードを含む広域(郡、県、山麓レベル)の範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。	<p style="text-align: center;">県・地方単位</p>